



観光立国に向けた公園利用施設のユニバーサルデザイン等導入促進事業 (自然公園等事業費の一部)

平成28年度要求額
2,243百万円（新規）

背景・目的

- 国立公園における訪日外国人旅行者
 - ・ 2014年、1,341万人超（5年間で480万人増）
 - ・ 2020年に、2,000万人、さらにはその先の3,000万人を目指す
 - ・ 日本に訪問した際に実施したい活動：自然・景勝地観光42.8%
- 国立公園では年間3.5億人の利用者、国民公園では年間約1,400万人の利用者を迎え、さらなる利用者の増加を見込む上で、ユニバーサルデザイン化は喫緊の課題。

○ 我が国を代表する自然景勝地である国立公園内外及び都市のオアシスである国民公園内の利用施設のユニバーサル化を図ることにより、訪日外国人の誘客を行う。
○ 高齢者、障がい者、ベビーカー利用者などあらゆる人が快適に過ごすことができるよう、新たなユニバーサルデザインを導入する。

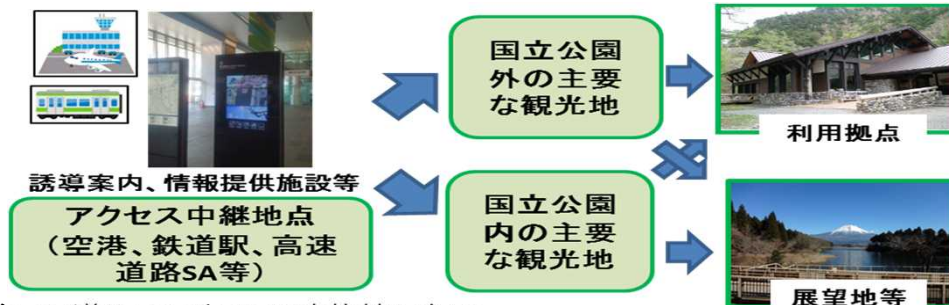
政府方針

- ・ 日本再興戦略(改訂2015)
- ・ 観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015

事業概要

- 国立公園内外のアクセスルートにおいて、切れ間のない誘導案内を行う多言語標識等を、2020年までに集中的・重点的に整備する。

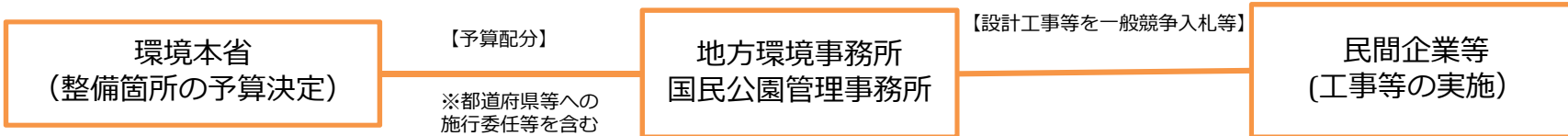
- ・ 国立公園内の利用拠点、観光地周辺における誘導案内施設（標識類）、ビジターセンター内の情報提供施設の整備
- ・ 空港、鉄道駅、高速道路サービスエリアなど、国立公園にアクセスする中継地点での情報提供施設の整備



- 国立公園・国民公園等利用施設において、新たなユニバーサルデザインを導入するための改修等を行う。

事業スキーム

国による直轄整備



期待される効果

訪日外国人を含む観光客等の利用環境を向上させ、世界に通用する魅力ある観光地域づくりに貢献し、地域の観光の促進と活性化を図る。